



角高だより



宮城県角田高等学校
〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館1
電話：0224-63-3001
FAX：0224-63-0523
mail：kakuko@od.myswan.ed.jp



硬式野球部

繋いだ想い 繋げた白球

角高硬式野球部は7月11日(土)、楽天モバイル最強パーク宮城にて加美農業高校との初戦を迎えた。先発した目黒稟斗(3年生)が7回2/3を投げ、奪三振12個を取るピッチングを見せた。打線は序盤に緊張感があったものの、後半に向けて復調し、8-1で8回コールド勝利した。7月15日(水)の2回戦では、春季大会で敗れた古川学園との再戦となった。古川学園の継投に攻めきれず、1-6で角高硬式野球部の夏が幕を閉じた。地域の想いをのせた全力プレーに拍手を送りたい。



↑ 円陣を組む選手



↑ 名将 平塚監督の指示を仰ぐ選手達



↑ 力投を見せた目黒稟斗

夏季オープンスクール開催

「角高だより第2号」にて既報の通り、7月27日(月)、今年度は本校を会場に角田高校夏季オープンスクールを開催した。総勢200名を超える方に参加いただき、本誌をご覧の中学生にも本校の雰囲気の一部を感じていただけたのではないだろうか。参加者アンケートでは、校長講話および本校生徒のパネルディスカッションについて、“特に印象に残った”と多くのコメントを頂戴した。

プログラムには、生徒による学校紹介、角高夢Projectの成果発表、パネルディスカッションが組み込まれ、生徒自身が未来の後輩に向けて主体的に本校をPRする姿が見られた。登壇した生徒たちはその場の質問等にも機転を利かせた対応を見せ、教員も生徒たちのたくましさを感じる機会であった。



↑ 菊地校長による学校説明



↑ 本校生徒のパネルディスカッション

1年次 大学見学

2年次 大学出張講義

7月9日(木)、進路学習の一環として1・2年次で下記の取り組みを行った。宮城教育大学を訪問した1年次の秋山友那は、「自習室や図書館など施設の充実さや先輩方の雰囲気の良さを直接感じることができた。自身もここで学べるように励んでいきたい」と進路実現に向けた意気込みを述べてくれた。

■ 1年次:大学見学 4グループに分かれて大学を訪問し、キャンパスの雰囲気や大学の講義を直接体感した。

- ・ 訪問先(計5校):宮城大学 / 山形大学 / 宮城教育大学 / 東北工業大学&仙台大学

■ 2年次:大学出張講義 各大学から講師をお招きし、講義や進路に向けたアドバイスをいただいた。

- ・ お越しいただいた大学(計6校): 東北大学 / 山形大学 / 宮城大学 / 宮城教育大学 / 東北学院大学 / 東北福祉大学



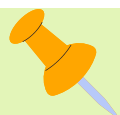
↑ 大学の講義を体験



↑ 大学の階段教室にて



↑ 大学の学食を体験



角高生の学びをご紹介 ～編集者からのちょっと一言～

現在、2年次の地学基礎では地震について学んでいます。7月末にも熊本で大きな地震があり、ある企業では煙突が倒壊して犠牲者が出る痛ましい事故がありました。このニュースを受け、「事前に対策を取るべきだった」と感じた方は多いのではないのでしょうか。そこで、生徒たちに「なぜ対策を取れなかったのか」という一歩踏み込んだ視点で考えてもらいました。

十分な安全対策を講じるには莫大な費用がかかります。資金確保のために「製品の値上げ」という手段も考えられますが、身近な日用品の価格が上がった際、私たち消費者は納得して購入するでしょうか。また、企業には社員の生活を保証するという責務もあります。防災対策の重要性を理解しつつも、様々な要因が複雑に絡み合っているという実態を学ぶ機会となりました。

ところで、生徒たちは「もっと勉強するべきだ」と言われる場面が多くあります。何かと理由をつけて後回しにすることは簡単ですが、「ことが起こってからでは遅い」という防災の教訓は、勉強や日々の生活にも通じます。手遅れになる前に対処することの大切さを、私たち大人がしっかりと伝えていきたいですね。(文責:井上)